

2 県産材の生産・加工・流通 ~森林から住宅ができるまで~

植栽・下刈り・枝打ち・間伐

岡山県の森林は、戦後の復興に伴い本格的にスギ・ヒノキが植えられてきました。そして、その植えられたスギ・ヒノキは将来、住宅に利用できるようにと下刈り・枝打ち・間伐等の作業により長年に亘って大切に育てられてきました。木材を使うには植栽後40年以上の年月が必要です。



苗木の植栽



下刈り作業



枝打ち作業



間伐作業

立木の伐採・搬出

成長して利用に適した大きさになると伐採し、急峻な地形や山の奥から原木を運び出し、原木市場や製材工場までトラックで輸送します。



立木の伐採作業



木材の造材作業



運搬車への積み込み作業



山からの搬出

原木の市場

森林から搬出された原木は樹種、太さや長さ、曲がり等その品質毎に一本一本丁寧に選別・仕分けし、製材工場へ競り売りにより販売します。



原木の仕分け作業



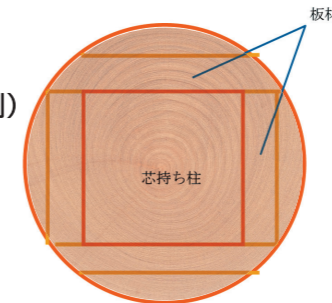
原木の競り売り

製材

原木市場等から仕入れた原木を住宅資材として使用できるように機械を使って製材します。この工程で、断面が丸い原木から角材や板に加工されます。

自動化された機械や、一回一回丁寧に製材する方法があります。

■製材木取り(例)



木材の人工乾燥・仕上げ

製材された製品を乾燥し、強度、寸法が安定し、狂いが少ない高品質な製品へと仕上げます。

乾燥時間は、樹種・寸法により異なりますが、1週間から10日程度要します。



帯鋸製材機



ツイン帯鋸製材機



人工乾燥機

JASの格付(一部製材業者)

製材された木材は同じ樹種、同じ寸法でも強度は異なります。そのため、JAS認定工場では、樹種、品質、含水率、寸法毎に一本一本厳選に格付け検査し、一本毎にJASマークを付し、品質と性能を保証します。



機械による強度測定



JAS格付け

製材品の市場

製材工場から出荷された製材品を競り売り等で木材問屋・材木店等に販売します。

製品市場には、柱・梁等の構造材から、垂木・筋交・間柱等の羽柄材、敷居・鴨居・框等の造作材、床板・腰壁等の内装材等の各種・各寸法の製品が勢揃いします。



製品の競り売り